

製品名: NeuroD2 (807) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14606**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	NEUROD2
別名	bHLHa1; NDR2; NDRF; neuroD related factor; NeuroD2; neurogenic differentiation 2;
遺伝子 ID	4761.0
SwissProt ID	Q15784
免疫原	ヒト NeuroD2 の合成ペプチド

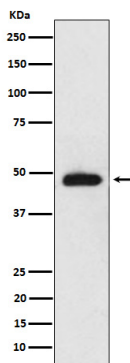
背景

神経分化を媒介すると思われます。神経細胞の決定に関与する転写制御因子です。E ボックスを含むプロモーターに結合して、カルシウム依存性の転写活性化を媒介します。神経分化の遺伝プログラムの抑制に必須の重要な因子であり、有糸分裂後の神経細胞のシナプス前膜の活性領域におけるシナプス小胞のクラスター形成を防ぎます。ZEB1 の転写を誘導し、それが REST 発現を下方制御することで神経分化を抑制します。視床皮質接続の確立と成熟に役割を果たし、体性感覚皮質の第 6 層内で視床求心性神経を異なるバレル領域に分離することに関与しています。小脳と海馬の顆粒ニューロン、扁桃体の基底外側核のニューロン、および視床下部-下垂体軸の発達に関与しています。DPYSL3 E ボックスを含むプロモーターとクロマチンで結合します (類似性による)。

研究分野

-

画像データ



マウス小脳細胞溶解物における NeuroD2 発現のウエスタンブロット分析。